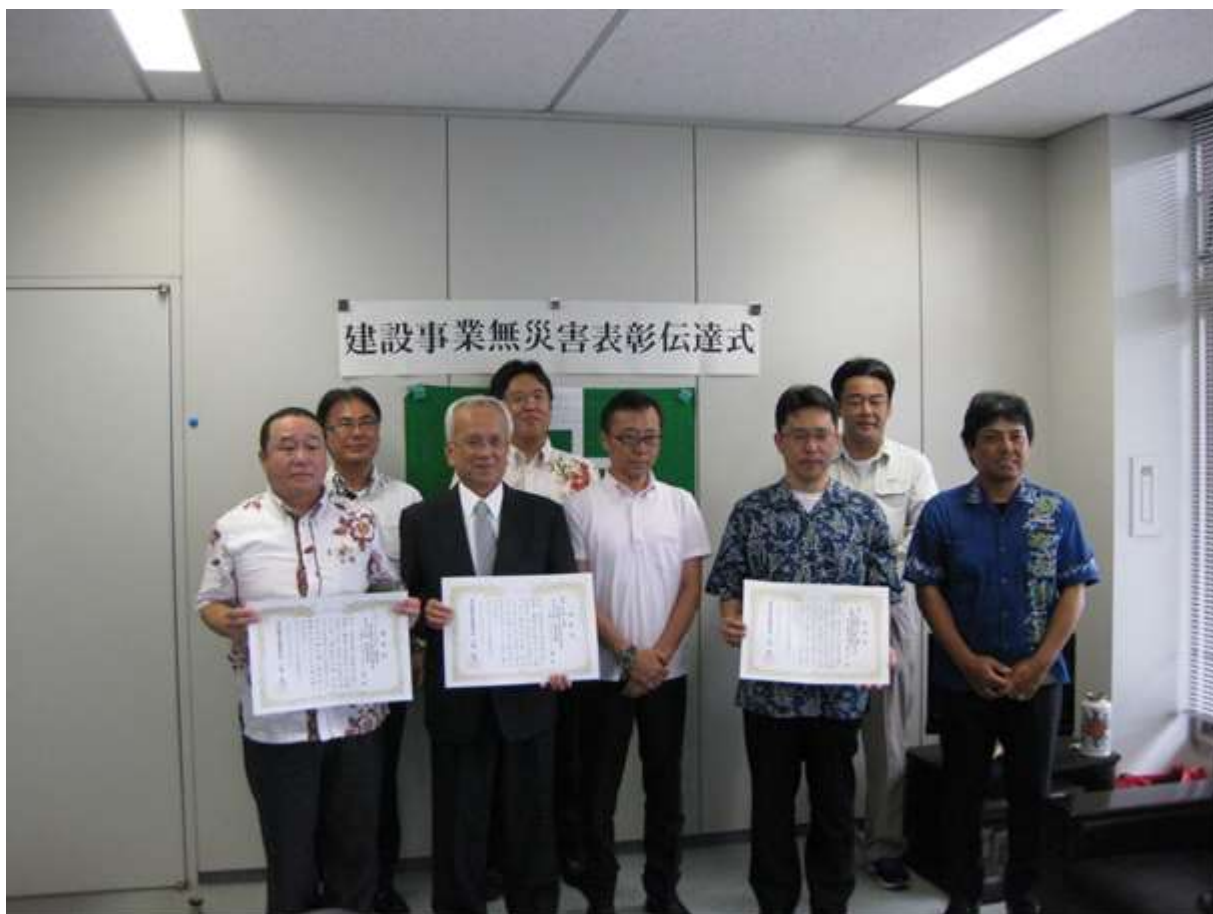


# 建設工事現場3現場を表彰

建設事業無災害表彰状の伝達授与式を開催しました。

那覇労働基準監督署(署長:風間 勝)は、平成28年6月29日、「建設事業無災害表彰状」の伝達授与式を行いました。



建設事業無災害表彰制度は、建設業者の自主的安全衛生管理活動を促進させ、労働災害防止を図ることを目的に設けられた制度で、一定規模以上の建設工事において着工から竣工までの全工期を通して無災害であった現場に対し、申請に基づき、厚生労働省労働基準局長から表彰状が授与されるものです。

平成27年度は、那覇監督署管内4現場に対して同表彰状が授与されました。

平成28年度は、今回の3現場が初めての表彰になります。

県内における建設業の労働災害による死傷者数(休業4日以上)は、昭和55年の598人をピークに、平成15年の129人まで長期的には減少傾向を示していたものの、その後は増減を繰り返しています。

平成27年は172人で前年比17人減少したものの、この10年間で2番目に多い数値

であり高止まりの状態が続いています。

平成 27 年の業種別構成比は全業種の 17.5%を占めており、全業種の中で最もおおいものでした。

本工事現場は、その中で、積極的に安全活動に取り組み、上記の結果を残したものです。

表彰対象事業場については、以下の 3 現場でした。

(1) 東洋・不動テトラ・屋部特定建設工事共同企業体

那覇空港滑走路増設護岸W工区築造工事(第3次)

那覇空港滑走路増設護岸W工区築造工事(第3次)は、那覇空港第2滑走路建設にあたって埋立護岸工事を行ったものです。本工事は平成26年12月12日から平成28年4月25日まで行われ、この期間に延べ7,703人の作業員が現場にて作業を行いました。そのうち1人も労働災害により休業しなかった事実が認められ、表彰が行われました。

(2) 鹿島・大米・南海特定建設工事共同企業体

平成25年度 牧港高架橋下部工(P6、P7)工事

平成25年度 牧港高架橋下部工(P6、P7)工事は、国道58号浦添北道路に位置する牧港高架橋のP6、P7橋脚にかかる下部工工事を行ったものです。本工事は平成25年7月10日から平成28年3月31日まで行われ、この期間に延べ23,876人の作業員が現場にて作業を行いました。そのうち1人も労働災害により休業しなかった事実が認められ、表彰が行われました。

(3) オリエンタル白石・國場組 特定建設工事共同企業体

平成25年度 牧港高架橋下部工(P4、P5)工事

平成25年度 牧港高架橋下部工(P4、P5)工事は、国道58号浦添北道路に位置する牧港高架橋のP4、P5橋脚にかかる下部工工事を行ったものです。本工事は平成25年8月30日から平成28年4月28日まで行われ、この期間に延べ21,055人の作業員が現場にて作業を行いました。そのうち1人も労働災害により休業しなかった事実が認められ、表彰が行われました。